

I 令和3年度事業報告

1 令和3年度事業実施概要

今年度の事業状況は、新型コロナウイルスまん延防止、緊急事態宣言等が繰り返し実施される中、外食産業や学校給食等での需要が不安定な状態となり、畜産業界も大きな影響を受け、経営の不安定化を招いている状況です。

酪農においては、学校給食等の需要減少にともない、生乳の供給過剰を招き、肉用牛肥育では、緊急事態宣言（8、9月）下で消費が減退したことから、枝肉価格が下降し、肉用牛肥育経営安定交付金が交付されることになりました。

一方、生産費の大半を占める配合飼料については、飼料価格が令和3年当初から上昇してきており、4月以降は8年ぶりに通常補てんおよび異常補てんが発動されました。その後も価格は上昇し、経営を圧迫する厳しい状態が続いています。今後も、原油価格の高止まりやコンテナ不足等により、価格低下は見込めない状況であり、輸入乾草についても同様と、畜産経営はさらに厳しさを増しています。

家畜衛生については、県内での発生はなかったものの、高病原性鳥インフルエンザが、全国では10県16事例の発生が確認されており、豚熱については、県内で本年度4月に1事例の発生が見られ、バイオセキュリティの構築が急務となっています。

また、近隣諸国では依然として口蹄疫、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が発生しており、畜産農家の懸念がなかなかぬぐえない状況です。

当協会では、牛マルキン制度に代表される経営安定対策に取り組むとともに、関係機関と連携し、豚熱発生農場における家畜防疫互助基金での支援、新型コロナ発生農場における経営支援事業の活用、畜産協会ホームページでの生産者支援情報の発信等、経営支援対策に取り組みました。

また、畜産女性を中心とした高校出前授業を開催し、畜産業に対する理解醸成を図るとともに、食肉消費を推進するための普及啓発資料作成業務を推進しました。

一方、事務局を預かる活動については、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、活動が制限される中、生産者とともに切なる声を行政関係者、消費者等に届け、健全な畜産業界の維持発展に寄与すべく、一丸となって活動しました。

2 令和3年度の主な行事

(令和4年3月末日現在)

年	月	日	行 事 内 容
3	4	23	三重県和牛繁殖協議会 第1回役員会
		27	(一社)三重県畜産協会 定期監査会
	5	27	第3回新J A三重ビル建設事務局全体会議打合せ会議
		16	(一社)三重県畜産協会第1回理事会
	6	30	(一社)三重県畜産協会 定時総会
		16	地全協畜産振興補助事業等監査
	7	19	地方会員活動支援推進事業 第1回企画検討委員会 (Web)
		19	第4回新J A三重ビル建設総務部門全体会議
	8	6	新J A三重ビルにおける什器備品打合せ会議
		19	三重県和牛繁殖協議会 第2回役員会
	27		東海ブロック畜産協会連絡協議会ブロック勉強会 (Web)
			東海ブロック畜産協会連絡協議会 (Web)
	9	7	地方会員活動支援推進事業 第2回企画検討委員会 (Web)
		15	第5回新J A三重ビル建設総務部門全体会議
	17		三重県畜産研究所 第1回研究評価委員会
		8	令和3年度農業関係団体と三重県知事との意見交換会
	10	19	第6回新J A三重ビル建設総務部門全体会議
		28	(一社)三重県畜産協会 第2回理事会
	11	12	令和3年度農林水産関係団体等人権啓発研修会
		26	衛生推進者養成講習
4	2	15	三重県和牛繁殖協議会 第3回役員会
		21	第7回新J A三重ビル建設総務部門全体会議
3	3	令和3年度地方会員活動支援推進事業 第3回企画検討委員会 (Web)	
	4	令和3年度畜産研究所第2回研究評価委員会 (事後評価)	
10		令和3年度地方会員活動支援推進事業 第4回企画検討委員会 (Web)	
	17	令和3年度地方会員活動支援推進事業 第5回企画検討委員会 (Web)	
22		(一社)三重県畜産協会 第3回理事会	
	28	第8回新J A三重ビル建設総務部門全体会議	

3 会員の状況

(令和4年3月末日現在)

	期首	増加	減少	期末
正会員	39	0	2	37

4 職員に関する事項

(令和4年3月末日現在)

	期首	採用	退職	期末
正職員	5	0	0	5
嘱託職員	3	2	0	5
臨時職員	0	0	0	0
パート職員	3	0	0	3
合計	11	2	0	13